

H154	コミュニティデザイン：つながりをつくる仕組みと持続可能なコミュニティの在り方を学ぶ		
英名科目名	Community Design Studies		
大学名	龍谷大学		
連絡先	教育学部 TEL：075-645-7891 FAX：075-643-5021		
担当教員	川中 大輔		
開講期間	2021年09月24日(金)～2022年01月14日(金) 3講時(13時30分～15時00分) 毎週金曜日 休講：2021年11月5日(金)		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	金曜日 3講時
単位数	2	履修年次	2年次以上
会場	瀬田学舎		
授業定員			
単位互換生定員		京カレッジ生定員	
試験・評価方法	平常点60%：各講義後の小レポート、グループでのプレゼンテーションなど総合的に評価する。 レポート40%：期末にレポートを課す。 【自由記載】 以下に該当した場合は原則不可とする。 1. 期末レポートを提出しなかった場合 2. 出席回数が10回に満たなかった場合		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	30,000円（単位互換履修生は不要）		
別途負担費用			
その他特記事項	【定員】 コロナの状況を鑑み、教室定員を超える申し込みがあった場合、抽選を実施する可能性があります。 【会場】 龍谷大学瀬田学舎 第1回目の教室については別途「お知らせ」欄に記載します。 【授業時間外における予・復習等の指示】 ・日頃からコミュニティデザインに関心を持ち、様々なメディアを用いて情報を収集すること。 ・グループワークおよびプレゼンテーション作成にあたっては、授業外での学習が必要になる。積極的かつ協力的な参加が求められる。 【履修上の注意・担当者からの一言】 受講にあたって、事前に特別な知識や経験は求めない。ただし、グループワーク等の参加型の形式も用いて授業を進めていくため、積極的かつ協力的な参加と、自分の頭で考える力が求められる。なお、参加型の授業では途中からの参加が難しいため、遅刻・欠席をしないよう、強く求めたい。 【オフィスアワー・教員との連絡方法】 ・授業前後の学生との直接対話 ・コミュニケーションペーパー ・manaba掲示板やE-mail ・オフィスアワー（川中のみ：木曜日2限/6号館205研究室）		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			
講義概要・到達目標	【講義概要】 「昔は良かった」「地域のつながりがあってみんなの温もりがあっ		

た」このような類いの言葉をなんとなく耳にしたことがあるのではないだろうか。私たちが暮らしている地域社会では、人口減少や若者の流出、少子高齢化の進行、中心市街地の衰退など多くの課題を抱えている。特に「コミュニティのつながりの希薄化や孤独の進行」は政策課題として農村部に限らず都市部においても取り上げられる。東日本大震災以降では「人との絆」が再認識された一方で、コロナ禍においては「ソーシャルディスタンス」として人との社会的距離を置くことを強いられた。

同時にオンラインで「つながり」を持つことの可能性が急速に普及した一方で、オンラインに接続できない人々やその限界も見えつつある。そのような状況において私たちが暮らす地域社会でのコミュニティはどのようにデザインすると良いのだろうか。

本講義では「まちづくり」や「地方創生」と呼ばれる取組みにおいて用いられる「コミュニティデザイン」を扱い、具体的な地域での取組み事例を交えて学びを深める。

【到達目標】

- ・コミュニティデザインを取り巻く社会的背景を理解し、説明できる
- ・コミュニティの課題解決、および価値創造に資する手法について指摘できる。
- ・自らの「コミュニティデザインプラン」を作成し、説明できる。

【講義方法】

一方的な講義ではなく、グループワーク等の参加型の形式も用いて授業を進めていく。コミュニティの現場での様々なケースを用いて「あなたならどのようにデザインするか」という観点から検討し、学びを深める。担当者が過去に経験したケースを中心に取り扱う予定である。

講義スケジュール

第01回
イントロダクション：コミュニティデザインとは何か 「つながる」と「関係する」、居場所と出番、動態としてのデザイン

第02回
コミュニティデザインの背景：つながりの過去と現在 脱埋め込み/再埋め込み、個人化/原子化、承認の断片化/市場化

第03回
コミュニティデザインの背景：つながりの現在と未来 持続可能な社会、自律分散の多中心性ガバナンス、近代デザイン運動

第04回
コミュニティデザインの実際：最前線で活躍する人の動き 地方創生、コミュニティ、ケアするまちのデザイン

第05回
ケーススタディ：都市部のコミュニティデザイン アイデア創発の場づくり、商店街の活性化

第06回
ケーススタディ：過疎地のコミュニティデザイン 過疎地域でのつながり、関係人口創出、田園回帰、都市と農村の持続可能な相互依存

第07回
ケーススタディ：若者のコミュニティデザイン 自己実現と価値創造、プロジェクト型のつながり

第08回
ケーススタディ の総括 ポスト成長社会、中央集権と地方分権、よそ者の関与

第09回
ケーススタディ：協働に向けたコミュニティデザイン マルチステークホルダーエンゲージメントの場づくり、地域活動拠点の設計

第10回
ケーススタディ：参画に向けたコミュニティデザイン ビジョン共創の場づくり、参加型の行政計画策定

第11回
ケーススタディ：共感に向けたコミュニティデザイン エンパシーの場づくり、多文化共生に向けた変容学習

第12回
ケーススタディ の総括 ワークショップの成果、参加のデザイン、コミュニティ・ソリューション

第13回
新たなコミュニティデザインの探究：ポストコロナのつながりを創造する ポストコロナ、オンラインコミュニティ、リアルコミュニティのアップデート

第14回
新たなコミュニティデザインの実践：「わたし」のコミュニティデザイン構想

受講生によるプレゼンテーションと講師によるコメント・ディスカッション コミュニティデザインプラン、問題解決と意味生成、アマチュアリズム

第15回

総括：コミュニティデザインを捉え直す デザインの運動性、デザインの政治性、デザインのダークサイドと倫理

教科書	特になし
参考書	<ul style="list-style-type: none">○山崎亮 『コミュニティデザインの時代』 (中公新書)○上町台地コミュニティデザイン研究会 『地域を活かすつながりのデザイン』(創元社)○広井良典 『人口減少社会のデザイン』 (東洋経済新報社)○坂倉杏介・醍醐孝典・石井大一郎 『コミュニティマネジメント』(中央経済社)○紫牟田伸子+編集部編 『クリエイティブ・コミュニティ・デザイン』 (フィルムアート社)○ランドルフ・T.ヘスター/土肥真人 『まちづくりの方法と技術--コミュニティ・デザイン・プライマー』(現代企画室)○鎌田華乃子 『コミュニティ・オーガナイズング』 (英治出版)○studio-L 『コミュニティデザインの仕事』 (ブックエンド)○金子郁容 『新版 コミュニティ・ソリューション』(岩波書店)○桜井政成 『コミュニティの幸福論』 (明石書店)○ジェームズ・C. スコット 『実践 日々のアナキズム』(岩波書店)○上平崇仁 『コ・デザイン』(NTT出版)○原研哉 『デザインのデザイン』(岩波書店)○松岡正剛 『デザイン知』(角川ソフィア文庫)○今中博之 『壁はいらない, って言われても。』 (河出書房新社)○ポール・フライシュマン 『種をまく人』 (あすなる書房) その他、授業内に適宜紹介する。